
組織と真っ向勝負

工藤魅月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

組織と真っ向勝負

【Zコード】

Z8034D

【作者名】

工藤魅月

【あらすじ】

俺は工藤新一高校生探偵！だけど蘭と遊園地に行って、黒ずくめの男たちの怪しげな取引現場を目撃した。しかし、取引を見るのに夢中になっていた俺は、背後からちかづいてくるもう一人の仲間にきずかず俺はそいつに毒薬を飲まされ、きがついたら体がちぢんてしまっていた。そこで俺は、博士に理由を話し、周りの人にも危害が及ぶ恐れがあると思い、江戸川コナンと言つ偽名を使いお父さんが探偵事務所をやっている蘭の家に転がり込んだ。そこで、いろいろな奴らに出会った。そして、APTX4869を作った、張本人

灰原哀にあつた。そして、博士は、体が小さくなつた俺のために、
いろんなメカを作つてくれたんだ。そして、これは、その1年後の
話

【第1話】蘭の思い？

俺は工藤新一高校生探偵さ！だけど、蘭と遊園地に行つて、黒ずくめの男たちの怪しげな取引現場を目撃した。（拳銃密輸）しかし、取引を見るのに夢中になつていた俺は、背後からちかずいてくるもう一人の仲間にきづかなかつた。俺はそいつに、頭を殴られ、APT X 4869とゆう毒薬を飲まされ、きがついたら、体がちぢんでしまつっていた。

そこで俺は、博士に理由を話し、周りの人にも危害が及ぶ恐れがあると思い、江戸川コナンと言つ偽名を使いお父さんが探偵事務所をやつている蘭の家に転がり込んだ。（組織の情報が、入つてくると思つたから。）そして、俺は、小学校1年生から、やり直すことになつた。

そこで、いろいろな奴らに出会つた。そういうと、少年探偵団つて奴も開いたんだ。

そして、APT X 4869を作つた、張本人にも出会つた。しかし、そいつも、姉を殺され、組織に嫌気が差し、死のうと思つた、毒薬が、体をちじませ、だしづつすることができたそうだ。

そして、俺は、体が小さくなつた俺のために、博士が、いろんなメカを作つてくれたんだ。

そして俺は、蘭のおちゃんを、迷探偵から、名探偵えとかえていつたんだ。

そしておちゃんは、日本人に、ほとんど知れ渡つた。

そして、俺に来た依頼も、おちゃんのほうにいくよになつたんだ。（おかげで、俺のファンレターは、途切れちまつたしょー・・・とほほ）

そして、この話は、俺がコナンとしてやつてきた、1年後の話・・・（2年生）

「コナン君ーみんな待ってるよ、早くいこ?」

ノミニスチリ

二〇一九年五月二日

「小豆山の韓が、豊富山の小豆山が、

も一
ふんしたな

「ええ、僕もです！－これこそ日本のスーパーマンだと思いました

六二

ああ今が一千年後
何事かハナシナハ
セ

卷之三

アーティストの「アーティスティック・センス」が、反面トーバーの「アーティスティック・センス」をもたらす。

「バー力あんたたち、いつになつてもお子ちゃまね。今は絶対歌手

の疾美克幸様よ！！

園子たまへ送りてゐた

たれ

「なんだとー仮面ヤイバーのほーがカツコイーゼ！！その
様だかしらねーが、何百倍も、何千倍も仮面ヤイバーのほうが、か
つこいいんだ！！なつ！！光彦歩美コナン灰原！！」と、元たが言
い張った。

『うん！…ええ、はい！…まつまあな！…』（はあ・・・）

「ああ、あなたたちはもうかはれかな」「どうも!」

争一が、なんとかんたてがこじいほにかどこせかの言ひ
よがくづけた。

争しかなかく一すした

「どうしたの？」と歩美がきいた。

「ああ、いつになつたら、元の姿にもどれつかなーと思つてなあ・・・

・」とコナンが、発言した

「えつコシコナン君? なにいつてるの? 元の姿? それつていつたい
どいつゆう意味なの?」

「えつあ、歩美ちゃん? なんあんでもないよーちよつとしたひとり
言だよー」（あつぶねー・・・）

「そつそかあ、それならいいんだ!! なんか、懲みとかあつたら、
歩美達にも相談してね。少しさ、相談相手になれると思うから。じ
やあねー」

歩美のとつても優しい言葉、言つてやりたいが、このことを言つた
ら歩美達にまで危害が及ぶので、話さなかつた。

帝丹高校

「ねえ園子、新一つて、いつになつたら帰つてくるんだから。 もつ、
いなくなつてから、1年もたつんだよー」

と、ここでは、新一の話になつていた。

「そうねえ、もう、死んじやつてたりしてーーしつしつし」

「もつ園子ー私は、真剣に考へてゐるのにーそれに、ともども、新一

からも、電話くるんだよー!! だけぞ・・・」

「・・・・もつ、こいつなつたら、高木刑事たちに、新一君のこと、
探してもらおうよー」

「えー、いいのかなそんな」としても

「じゃあいいの? 蘭は?」このままこいつしよう新一君と、あえないま
まで。」

「そつそんなわけないでしょー。わかつた。帰りによつて行こつよ。
警視庁に。」

そして、蘭と園子は、帰りに、警視庁に、よるじとになつた。

やいぢょしうか。今回のは。ちよつと短めですが、書いてみました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8034d/>

組織と真っ向勝負

2010年10月10日19時43分発行